

皆さんの希望です 請願・陳情

請願は、皆さんが国や県、市区町村に対し、一定の希望を述べる制度です。憲法には、国民の基本的権利として請願権（第16条）が保障されています。議会への提出には議員の紹介を通して行います。陳情は、議長が必要と認められたものについては、請願と同等に取り扱うことにしています。

請願

●教育予算の拡充を求める
請願：採択

〔提出者〕

茨城県教職員組合 吉田豊氏ほか196人

〔紹介議員〕

渡部議員

〔討論〕

平議員：民主党は従前から少人数学級の推進を掲げてきた。政権交代し、進まない状態になっている。賛成。



雇用促進住宅(台宿)

●雇用促進住宅の存続を求める請願書：請願事項②のみ採択

①公共住宅として台宿雇用促進住宅を存続させること。

②存続を求める意見書を関係機関に提出すること。

〔提出者〕

長谷山美智子氏ほか138人

〔紹介議員〕

鈴木議員

〔討論〕

鈴木議員：住民説明会では納得の声は皆無だった。一般質問でも住宅政策の充実を求める声があり、支援制度を確立するべき。賛成。

池田議員：台宿雇用促進住宅の存続は不可能に近い請願であると考えられる。しかし、市として何か出来ないか考えていただきたい。賛成。

●国保税の引き下げを求める請願：不採択

〔提出者〕

取手地域社会保障推進協議会事務局長 新田幸次氏ほか2154人

〔紹介議員〕

小池議員ほか1人

〔討論〕

小池議員：国保会計は過去5年、大幅黒字を繰り返し、

基金を積み上げていく。毎年大きな黒字を計上するから税が妥当か検証する必要がある。賛成。

陳情

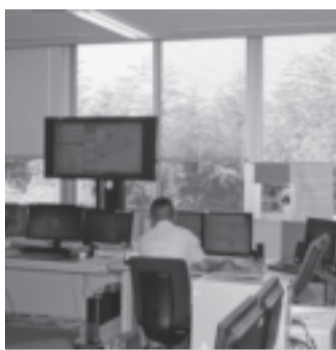
●気象事業の整備拡充を求める意見書提出に関わる陳情：採択

〔提出者〕

国土交通労働組合関東中部気象支部 水戸分会分会長 海野俊幸氏

〔討論〕

関戸議員：異常気象は全国各地でも起こることが予想される。気象現象を正確に把握し、情報を伝える上で、整備拡充は重要。賛成。



水戸地方気象台内観測予報業務室

●市政協力員制度の改革を求める陳情書：不採択

〔提出者〕

小矢勝義氏

〔討論〕

関戸議員：市政協力員の業務の一部は町会や自治会で組織的に対応しているところが多くある。町会や自治会の問題も含めて全体で考えたときに、見直し検討する時期に来ている。賛成。

●政治倫理条例の精査及び整備を市議会議員の責任で直接実施することを求める陳情：不採択

〔提出者〕

坂巻弘始氏

〔討論〕

遠山議員：この陳情は議会運営委員会での委員長の発言を受けてのもの。委員として反省している。議員自身が整備を手がけなければいけない。賛成。

●子どもたちの放射能被ばくに対する集団健康診断実施を求める陳情：趣旨採択

〔提出者〕

加賀谷 薫氏

〔討論〕

平議員：政治が子どもたちの健康を調べ、そのデータを残し、治療して、人間らしい生活を送らせるところを見たい。趣旨採択に賛成。

鈴木議員：子どもの健康を願う親の気持ちになり、市が検査するべき。費用は国や東電に請求すればいい。一番大切な子どもの命を守る行動を。趣旨採択に反対。

飯島議員：甲状腺の触診、エコー診断、血液検査、心臓検査、できることから市で一刻も早く子どもの健康診断を行う体制をとってほしい。趣旨採択に賛成。



●市内全域の歩道改修に関する陳情（バリアフリー取手1歩道）：趣旨採択

〔提出者〕

斎藤たかし氏ほか225人

〔討論〕

遠山議員：趣旨採択は陳情者の願意は理解するが、議会から行政には渡らず、何もしてもらえない。だれもが安心して通行できるバリアフリー化を多くの市民が願っている。趣旨採択に反対し、陳情自体に賛成。

●政治倫理に関するコンプライアンスについての陳情：陳情事項③のみ採択

〔討論〕

政治倫理審査会は①専門委員を2人、連続2期4年。応募専門委員がない場合、一般市民から6人。②市長等及び議員の縁者は委員に選任しない。③原則公開。議会傍聴規則を準用。④審査会の庶務担当を総務部に。

〔提出者〕

坂巻弘始氏

〔討論〕

倉持議員：案件によっては秘密会の形は必要だが、原則公開にするのが時代の流れ。陳情事項③に賛成。

赤羽議員：多くの自治体で原則公開の会議に位置付けられている。原則公開にすべき。陳情事項③に賛成。

遠山議員：原則公開とし、審査結論に至る経緯を知らせるべき。公正公平で開か

れた市政、議会として受け止め改善すべき。全て賛成。

〔提出者〕

坂巻弘始氏

〔討論〕

加増議員：議会は市民の代弁者として市政執行のチェック機能の役割を果たすべき。議会が調査を行うことすら拒否することは、自ら議会としての役割を放棄するに等しい。賛成。



新米が集荷された倉庫(茨城みなみ農協)

●TPP（環太平洋連携協定）交渉に関する陳情：採択

〔提出者〕

茨城みなみ農業協同組合代表理事組合長 齊藤 繁氏

〔討論〕

平議員：日本は農家がお米を作りたい気持ちをそいでいる。物を売れる方向で学ばなければならぬ。賛成。